

サンケン電気株式会社が発行する 「グリーンボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 内田通郎、以下「当組合」）は、このたび、サンケン電気株式会社（以下「本法人」）が発行する第14回無担保普通社債（グリーンボンド）、（以下「本債券」）への投資をいたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2022年6月16日）。

「グリーンボンド」とは、調達資金の使途が環境配慮型投融資案件に資するものであることに限定された債券です。

本債券の発行により調達する資金は、電気自動車（EV）向け半導体製品であるEVトラクションモータ用パワーモジュールとEV向けシリコンカーバイド（SiC）デバイスに充当される予定です。

また、本法人は本債券の発行にあたって、「グリーンファイナンス・フレームワーク」を策定し、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、国際資本市場協会（ICMA）の定める「グリーンボンド原則 2021」、環境省の定める「グリーンボンドガイドライン 2020」、ローン・マーケット・アソシエーション（LMA）、アジア太平洋ローン・マーケット・アソシエーション（APLMA）及びローンシンジケーション&トレーディング・アソシエーション（LSTA）の定める「グリーンローン原則 2021」及び環境省の定める「グリーンローン及びサステナビリティ・リンクローンガイドライン 2020」との適合性について、外部評価（セカンドオピニオン）を取得しております。

当組合は、今後もESG投資を通じて、SDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以上